

2026 年度事業計画

自 2026 年 4 月 1 日
至 2027 年 3 月 31 日

2026 年度において当協会は、金属屋根・外壁の品質向上につながる諸施策に取り組むとともに、屋根 30 分耐火構造に関連する事業を展開する。その他、これまで同様、技術情報の提供等を進め、建築業界全体として屋根・外壁の安全性向上を図ることをめざしていく。

この目的に対応するため、以下の事業に重点的に取り組む。

- ① 協会書籍の電子化に一部取り掛かる、最新の規定・規則に対応出来る様に
- ② 新たな屋根 30 分耐火構造認定の取得と認定内容の周知を行う。
- ③ 技術情報発信の強化…機関誌を通じて会員に対して有益な情報を提供するとともに、ホームページでは、設計・元請業界に対する技術情報の提供を充実させる。
- ④ 国土交通省関連の機関への協力支援を行っていく。

1. 調査研究・啓蒙事業

- ① 若年労働者育成に関する調査
中央職業能力開発協会への技能検定委員の派遣
関係団体等との意見交換など若年労働者育成に向けた活動を進める。
- ② 外国人労働者問題に対する対応
関係団体等と協調し、対応を進める。
- ③ 金属屋根・外壁に関する調査の実施
- ④ その他必要に応じた調査・研究を実施する。

2. 安全対策事業

- ① 必要に応じて安全に関する情報提供に努め、安全意識の向上を進める。

3. 審査事業

- ① 金属屋根工事技士技術審査の実施
東京・大阪・札幌・仙台・福岡など 5 会場程度での実施を予定する。

4. 施工管理事業

- ① 金属屋根工事技士更新講習会の実施
・25 年度は、Web 講習と面着での講習を行った。26 年度も、Web と東京と大阪会場をリアル開催したく準備を行う。

5. 品質管理事業

- ① 『屋根改修工事の手引き』の普及に努める。
- ② 『風と金属屋根』、『初めて学ぶ もう一度学ぶ 金属の屋根と外壁』、『鋼板製屋根・外壁の設計・施工・保全の手引き』、『鋼板製外壁構法標準』、『鋼板製屋根構法標準』の普及を進める。
- ③ 既存建築物における屋根ふき材の耐風診断・耐風補強技術評価に関する検討。
- ④ 計算ソフト『屋根を調べる』の改訂と普及を行う。
- ⑤ 金属屋根に関する技術情報の提供を行う。
- ⑥ その他加工・施工品質技術向上につながる事業を必要に応じて実施する。

6. 断熱事業

- ① 耐火構造認定の取得～委員会会員が使用する屋根 30 分耐火構造の大臣認定取得を図る。
- ② 認定書の発行管理～認定書の発行並びに発行記録の管理等を継続して進める。
- ③ 認定内容の周知～会員並びに設計、元請、建築確認審査機関等に断熱亜鉛鉄板及び認定書の内容等に関する広報活動を行う。
- ④ 品質の維持・向上～断熱亜鉛鉄板の品質の維持・向上を図る。
- ⑤ 調査研究～屋根耐火構造性能等に関する調査研究を行う。

7. 広報事業

- ① 機関誌『金属屋根 施工と管理』の発行
誌面の更なる充実を図り、8 月を除き年 11 回発行する。
- ② ホームページの内容更新を行う。
定期的な更新を行うとともに、重点事業項目に対応した更新も実施する。
- ③ その他金属屋根の普及につながる事業を必要に応じて実施する。

8. 協力事業

- ① 金属サイディング工業会との事業協力
- ② その他必要に応じて関係団体等の事業に協力する。

9. その他の事業

- ① 優秀施工者(建設マスター)、青年優秀施工者(建設ジュニアマスター)候補者の推薦
- ② その他、当協会の目的に沿った事業を必要に応じて実施する。

以 上